

てしお

議会だより

No.182

令和5年8月23日発行

北海道
天塩町議会



02 第2回定例会

物価高騰支援対策商品券発行事業ほか

04 一般質問

町政のそこが聞きたい

こども園 おひさま：「おまつりごっこ」



議会 HP はこちらからチェック！



みちのこえ

天塩町スポーツ少年団

のみなさん

補正予算ピックアップ

- 学校給食費無償化事業を追加
- 物価高騰支援対策商品券を発行

第2回
定例会

6月19日

学校給食費無償化事業ほか

2億8994万9千円を追加

補正予算

●一般会計

歳入歳出について、総額を50億1700万円とする補正予算案を可決しました。

山本

物価高騰の中、解体費等も上がっている状況。今後の補助金額見直しの考えは。

質疑要旨

空き家解体補助の見直しを

歳出（主なもの）	補正額
庁舎管理経費	220万円
住宅リフォーム支援事業補助金	1,000万円
空き家解体撤去費補助金	100万円
学校給食費無償化事業負担金	900万円
電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金事業	1,182万円
パンケ沼底質改善事業補助金	2,838万円
物価高騰支援対策商品券発行事業	2,974万円
町道及び公共施設除排雪経費	1,133万円

住民課長

補助額については、ここ数年の利用状況を加味し提案しています。物価高騰での補助金額の見直しについては、今後検討していきたいと考えております。

物価高騰支援対策
商品券発行事業について

桑田

マイナンバーカードをお持ちの方で銀行口座が紐付されている方には直接給付することも可能と考えられるが、現在の登録者数や今後の考え方は。

住民課長

交付件数は、2151件、普及率は74.4%（5月末時点）。口座の紐付については、個人の判断で行うため町での把握はできません。

行政報告

○防災情報配信システムの運用

ICT技術を活用し、携帯電話など個別に情報を配信する新システムを運用開始し、弾道ミサイル発射や災害など、国と連動し、情報配信する機能のほか、町や気象庁、道路情報などを取得しやすく、住民に広く活用してもらいたいと考えております。

また、町内会単位の防災事業の再開を積極的に促進し、本システムの有効性を説明・登録数の増に繋げるとともに、消防や地域企業、町内会等の各種団体と協力した、「地域一丸となつて災害に備えるマチ」を目指し取り組みでいきたくて考えております。

今後の感染対策については、個人や事業者の自主的な判断に委ねることが基本となります。町民の皆さまにおかれましても、基本的な感染対策を心掛けるなど、健康な生活の継続にご協力をお願いするとともに町としても、国や道と連携しながら状況に応じた対応、支援に努めてまいりたいと存じます。

○新型コロナウイルス感染症対策本部の廃止

令和5年5月8日から5類感染症の位置づけに変更されたことに伴い、本町においても、令和5年5月9日をもって対策本部を廃止しました。

3年間を超える新型コロナウイルスへの対応について、ご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。

その他

(主なもの)

○天塩町課設置条例の一部改正について

全庁的に減員の中で業務を遂行しており、行政課題の対応強化や効率化で機能的な業務体制の強化を図ると共に町政の重要課題等を推進する体制の強化を図るため一部改正を行いました。

○教育長の任命

西村 聡



○天塩町農業委員会委員の任命

11名の農業委員を任命することに同意。

○工事請負契約の締結

雄信内22号線22号橋補修工事請負契約について原案可決。

契約金額

7920万円

相手方

鹿児島・メイク経営建設共同企業体

第3回臨時会

5月29日

○天塩町税条例の一部改正について

森林環境譲与税の導入、国民健康保険税賦課限度額及び軽減判定所得基準額の引上げ、軽自動車税に係る特例等の改正案が可決されました。

第4回臨時会

7月10日

○財産の取得について名称・数量

除雪グレーダー

3.1m級 1台

取得方法

指名競争入札

契約金額

3850万円

相手方

吉川自動車工業(株)

第5回臨時会

7月26日

○工事請負契約の締結

天塩町南開団地1号棟改修工事請負契約について原案可決。

契約金額

6160万円

相手方

(株)石山組天塩本店

11名の農業委員を任命することに同意。

旧
総務課
住民課
産業振興課
福祉課
建設課



新
総務課
住民課
企画商工課
農林水産課
福祉課
建設課

氏 名	備 考
伊藤 淳一	再・推薦・認定農業者
中谷 哲也	新・推薦・認定農業者
高原 弘雄	新・推薦・認定農業者
吉田 信雄	新・推薦・認定農業者
奥山 稔	再・推薦・認定農業者
中島 之浩	新・推薦・認定農業者
石山 司	新・推薦・認定農業者
高橋 一博	再・応募・認定農業者
丸山 淳子	再・応募
満保 豊	再・応募・認定農業者
寺本 奈穂子	再・応募

○天塩町情報公開条例等の一部改正する条例の制定について

個人情報保護の保護に関する法律の適用を受けたことに伴い、整備条例を制定することについて可決されました。

○工事請負契約の締結

市街地区管路更新工事請負契約について原案可決。

契約金額

5995万円

相手方

菊地・瀬越経営建設共同企業体

北海道町村議会議長会による表彰

菊地敏議員が、議長として、7年以上にわたり地方自治の振興に寄与された功績に対し、北海道町村議会議長会から表彰され、横山議長から表彰状の伝達が行われました。



▲横山議長（右）から表彰を受ける菊地議員（左）

産廃処分場の 方向性は

現在の方向性は

R2年9月議会で一般質問をし、検討を重ねた対策案として完全閉鎖や譲渡方法を今後検討していく旨の答弁があつたが、完全閉鎖には道への手続きが必要となり、かなりの時間がかかることも認識している。以前町外業者から風力発電の羽根部分の交換時期に伴い、破砕して搬入したい旨打診があつたが断っている状況。これまで管理経費が9000万円相当がかつており、処分場の法面も崩れていて整備には費用がかかる。今後町として施設の再稼働、廃止、地権者・産業団体を含め、産廃処分場をどの方向性に進めていくのか町長の見解は。

町長

処分場について、大きな財政負担が続き、H30年度に事業縮小、R2年度に稼働停止しました。



山本 春光 議員

稼働停止後も年間約100万円の経費がかかり、廃止方針を打ち出しましたが、1万立米を上回る廃棄容量分の埋立てが廃止の前提条件であることから、廃棄物の代わりに土盛りをするとなれば莫大な経費がかかり、当初の目的が果たされないまま、更なる大きな予算投入は理解が到底得られないとし課題が解消されない状況が続いています。風雨により法面が崩れており、道からも指導を受けており、現在の制約では廃止への足掛かりすら望めないことから、条件緩和を視野に受け入れを進め、再稼働を図りたいと考えております。

子どもたちへの 物価高騰支援は

給食費無償化の財源は

物価高騰が生活を圧迫し、子どもたちの学びの機会や学習意欲に深刻な影響を及ぼしている。給食費の無償化は、子育てをするご家庭にとって大きな財政支援に繋がる。町としての考えは。

町長

物価高騰により学校給食費の値上げは避けられません。安定的かつ安心・安全な食の提供と子育て世帯の負担軽減のため、給食費の無償化は将来を見据えたときに必要な政策。国や道では給食会計の公会計化を進めており、システム改修費の増額や給食費の徴収業務など作業量を考えると、一足早く取り組むことが必要となります。無償化に伴う財源は、一般財源ではありませんが、将来的には国の政策ともかみ合っているのではと考えております。

現在、町として高等学校・中学校などへ補助を行っており、高校については一窓口となったことで、振興費・活動補助金など内容の見直し時期と考える。さらに、各種少年団や部活等は、

部員の減少により町単独では活動が制限され、広域連携で行っている。今後の教育環境、少年団活動の支援策と指導者育成についての考えは。

町長

天塩高等学校は、普通科高校としてこの地域に必要とされており、魅力ある高校を発信し続けることはこれから変わることなく、校長や教職員、高校振興会の皆さんと意見交換をしながら、支援内容について検討していきます。

スポーツ活動・文化活動の広域連携と支援策及び環境整備については、物価高騰の影響で活動が制限されることがないよう、今定例会で補正予算の増額提案をしました。生涯にわたる活動機会の減少を避けるため、指導者の育成や環境整備等支援策を関係機関と協議し、対策を講じていきます。

YouTubeはこちら



今後の除雪体制は

今後の体制強化や対策は

高齢化が進むに比例し、身動きが困難になる高齢ご夫婦や独居者世帯も増加している。早朝の前面道路除雪後の玄関先に積みあがった雪の処理に大変ご苦労をされていると伺っている。親族の方や、業者に依頼し排雪を行える方であれば問題はないが、大半はご自身で行っているのが現状。町長のマニフェストにおいて除排雪体制の見直し、体制強化を進めたいと述べているが①高齢者世帯への除雪の支援策②除排雪の体制強化や対策についての今後のお考えは。

町長

①高齢、虚弱、病弱、身体障害などの理由により、排雪作業が困難な住民について、必要最低限の玄関前除雪、屋根の雪下ろし、落雪の処理の作業を提供する「天塩町福祉除雪サービス」を町の補助事業として



石山 直継 議員

天塩町社会福祉協議会が提供しており、天塩町高齢者事業団が請負業者となり実施しております。なお、利用対象に該当しない世帯で民間のショベル除排雪契約ができなかった方を対象に、R4年度の新たな取り組みとして、小型ショベルによる住宅周辺の軽微な除雪を、福祉除雪サービスに準じて行ったところです。

②今後除雪体制の効率化や作業の軽減化に向けた取り組みの一つとして、GPSを活用した除雪管理システムの導入を予定しています。

除雪作業中の障害物や注意地点の確認、除排雪作業状況をリアルタイムに確認することができ、地域住民からの問い合わせにも対応でき、日報作成の自動化など、事務作業の軽減に繋がれるものです。このようなシステムを効果的に活用しながら、除排雪業務の効率化・適正化を進め、高齢者世帯等の負担軽減に向け取り組みたいです。

近年降雪により交互通行できる道路が少なくなり、解消する必要があると見えます。事前に的確に、住民の皆様への利便性を図るため、担当課とともに道路の確保、安全性の確保に取り組んでいきたいです。

福祉課長

除排雪サービス事業補助金の実績は、R4年度は246万6202円、R3年度は330万4000円。

除排雪サービス利用者負担は、小型ショベルによる玄関前除雪は、30分未満が500円、30分以上が1000円。人力による玄関前除雪は、30分で1200円。屋根の雪下ろし排雪サービスは、自己負担額を人件費の2割、1時間1名1200円で設定しており、その2割の240円が負担額となっております。なお、介護保険料の区分が1〜3に該当する場合、更に半額という設定です。



▲昨年の除排雪の様子

YouTubeはこちら





表紙の写真 こども園「おまつりごっこ」

7月21日に認定こども園おひさまでおまつりごっこが開かれました。昨年までは新型コロナウイルスの影響で町内のお祭りが中止や縮小していましたが、今年は規制も緩和し開催しており、園内のおまつりごっこでは、年上の子が年下の子の手を握り、ヨーヨー釣りなどたくさんの出店をみんなで楽しむ姿は微笑ましい風景でした。



今回は天塩町スポーツ少年団のみなさん



Q. 子育てで感じる地域の課題や疑問は？

A 地域全体に公園、遊び場が少なくなっており、Wi-Fiのあるスポーツセンターに集中してしまっています。また公園に柵がなく気軽に子どもがボール遊びをできる場所が少ないと感じています。

共働き家庭への支援や町立病院の小児診察回数増など暮らしの観点での支援が必要だと感じています。

Q. 少年団を存続させていくために将来的に求めるものは？

A 遠征に行く際の保護者負担費用が年々高くなっており、バスの借り上げなど支援強化が更に必要だと思います。

また事務局や指導者の担い手不足が進んでおり、そのケアも必要だと感じています。

少子化の中、子どもの競技継続には仲間作りが重要。広域的な取り組みが必要だと思います。

Q. 議会や議会だより どうですか？

A 議会を現場で聞くのは難しいですが、Youtubeの配信が始まったことで、見るようになりましたし、議会を身近に感じるようになりました。

議会だよりは、わかりやすく見やすい印象ですが、Youtubeや町広報と重複している内容があり、見ないこともあります。

この取材の詳しい内容はHPに掲載しています。

天塩町議会 |

検索



LINEに公式アカウントを開いています。
議会の情報を発信していますのでぜひご登録ください。



動画配信サイトYouTubeで本会議の録画配信をしています。
チャンネル登録をお願いします。

議会を傍聴しませんか？

第3回定例会は



9月12日～14日の予定です。

一般質問は12日に行う予定です。

質問者・内容はホームページやLINEに掲載します。



町民相談コーナーを開設しています。ご相談がある方はお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。

【発行】天塩町議会 【編集】議会広報特別委員会 ☎098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目 ☎01632-2-1001（代表）

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONTを使用しています。